

我孫子市史研究センター・会報278号 (通算584号)

発行・編集 我孫子市史研究センター

発行日 令和7年7月30日

市史研結成50周年記念講演会のお知らせ

日時： 令和7年10月13日（月・祝） 14:00～（開場13:30～）
演題： 幕末・維新时期における村々の動向―根戸村の史料を中心に―
講師： 久留島 浩・前国立歴史民俗博物館館長・名誉教授
会場： アビスタ・ホール（入場料：一般500円、学生・会員無料）

久留島先生は日本近世史がご専門で、江戸時代後期の百姓と村の変質にくわしく、今回 激動する幕末・維新时期、我孫子市域の村々はどうであったのか、水戸街道筋・我孫子宿の隣村である根戸村の地方文書から語っていただきます。

50周年記念誌編集、順調に進捗！

今年の11月30日の創立記念日に刊行予定の、『会誌5号・市史研結成50周年記念特集号』の編集も佳境を迎えています。記念誌は大別すると、座談会「過去の五〇年を見つめ、明日に繋ぐ」・「論文」・「回想文」・「各部会のこれまでの歩み」・「思い出のアルバム」・「資料編」（先導者、物故者・年表・歴代役員表・歴史講演会・史跡見学会・社寺調査一覧表・他）の構成の予定です。

「論文」には18編の投稿がありました。特筆されるのが日曜古文書解読部会5名による共同研究「幕末・維新时期の根戸村を探る」の6編、これまでに地道に積み重ねてきた共同学習の成果が結実した論集になっています。論稿を時代別に分類すると、近現代に5編、近世が共同研究を含め8編、古代中世史からは「我孫子の遺跡・伝承を訪ねる」も含め5編、総頁数が約170頁の重厚な論文集になります。「回想文」には、30名の会員から応募がありました。

「座談会」は「第1章 発足から25年」、「第2章 独立してからの25年」、「第3章 明日の市史研を考える」のテーマで進めています。

アビスタ・ストリート展示開催のお知らせ

今年も「あびこの歴史がおもしろい」をテーマに、併せて、郷土資料展示施設の必要性和50周年記念講演のアピールも兼ね、下記のようにストリート展示を開催します。

今回は、新作「下総国相馬郡柴崎村の今昔」と昨年制作の「我孫子の古代・中世」のパネルも展示。

期日： 9月15日（月）～ 9月28日（日） 会場： アビスタ・1階 通路に展示
展示パネル： 「下総国相馬郡柴崎村の今昔」「我孫子の古代・中世」「水戸街道我孫子宿の町並み図」「我孫子に郷土資料館を」「市史研結成50周年記念講演会のご案内」などの6枚。
前回と同様に、土・日・祭日の11時から15時には説明要員を配置する予定です。